



2006年3月3日

ペトロ・ラービグ社のプロジェクト・ファイナンス契約調印について

住友化学とサウジアラビアン・オイル・カンパニー（サウジ・アラムコ社）は、昨年9月に折半出資の合弁会社ラービグ・リファイニング・アンド・ペトロケミカル・カンパニー（ペトロ・ラービグ社）を設立し、サウジアラビアのラービグにおける石油精製と石油化学との統合コンプレックス事業計画（ラービグ計画）を推進しておりますが、このほど銀行団との間で、総事業費98億米ドルの約6割にあたる58億米ドルのプロジェクト・ファイナンス契約を締結いたしました。

本プロジェクト・ファイナンスは、国際協力銀行（JBIC）とサウジアラビアのパブリック・インベストメント・ファンド（PIF）など日本とサウジアラビアの政府系金融機関を中心に両国ならびに欧米、湾岸諸国の商業銀行にイスラム系投資家を加えた17行をメンバーとする幹事団から、ペトロ・ラービグ社が融資を受けるものです。JBICからは25億米ドル、PIFからは10億米ドルの融資を受けます。また、本プロジェクト・ファイナンス組成にあたっては、三井住友銀行をファイナンシャル・アドバイザーに起用いたしました。

ラービグ計画は、サウジアラビア紅海沿岸の都市ラービグにサウジ・アラムコ社が所有する既存製油所の高度化とエタンクラッカー、流動接触分解装置（FCC）や石油化学製品生産設備などの新設により、世界最大級の石油精製と石油化学の統合コンプレックスを建設するもので、競争力のある原料をサウジ・アラムコ社から安定的に供給を受けるとともに、スケールメリットを最大限に発揮し、これまでに比べ飛躍的に収益力の高い石油精製・石油化学事業を展開しようとするものです。同時に本計画が、ラービグやこれに隣接して建設される予定である新経済都市の産業の中核として、サウジアラビアの雇用の拡大、経済の多様化に貢献し、同国の持続的な発展に資するとともに、日本とサウジアラビア両国の関係のさらなる緊密化の一助となることを期待しています。

これまで設備建設のためのエンジニアリング、資材調達、建設工事等の契約ならびに銀行団との融資契約を順次進めてまいりましたが、これらが完了するはこびとなりましたことから、近く起工式を行い、本格的な工事に着手します。設備の完工は当初計画どおり、2008年第3四半期を予定しています。

以上

別紙・・・幹事銀行団リスト

(別紙)

幹事銀行団リスト

銀行名	国名
三井住友銀行	日
住友信託銀行	日
みずほコーポレート銀行	日
三菱東京 UFJ 銀行	日
Citibank N.A.	米
Gulf International Bank B.S.C	(*)
Riyad Bank	サウジ
Calyon	仏
WestLB AG	独
BNP Paribas	仏
HSBC	英
APICORP	(*)
The Saudi British Bank	サウジ
Saudi Hollandi Bank	サウジ
Banque Saudi Fransi	サウジ
Islamic Development Bank	(*)
Bank Albilad	サウジ

(*) 湾岸諸国あるいはイスラム系諸国による共同出資